学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	国　語	実施学年	３　年	週時数	３時間

１　学習の目標等

学習の目標	（１）社会生活に必要な知識や技能を身につけ、国語を構成する言語文化に親しんだり理解したりすることをできるようにする。 （２）社会生活における人との関わりの中で、物事を論理的に考える力や共感・想像したことを書いたり話したりして表現できるようにする。 （３）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。 （４）言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を自己の向上に役立て、国語を構成する言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を持つ。
使用教科書 副教材等	伝え合う言葉３（教育出版） 国語のワーク（明治図書）、楽しい文法（東京法令出版）、単元別漢字３（秀学社）、最新国語資料集（明治図書）、千葉県入試直前対策精選問題（創育）、書写道具（各自準備）、国語辞典（必要に応じて各自準備）

２　学習計画及び評価方法等

○評価欄には「知識・技能」及び「思考・判断・表現」についてのみ記載します。記号については以下の通りとします。「主体的に学習に取り組む態度」についての評価材料は『３．評価について』に記します。

(a)：授業内の活動　(b)：小テスト・単元テスト　(c)：定期テスト

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備　考
第１学期	4	春に	・言葉の中の春を読む。	(a) (c)	年間を通じて漢字テストを実施します。（不定期） 体育祭後に短歌・俳句の創作を行う予定です。 修学旅行後に短歌・俳句の創作を行う予定です。
		立ってくる春	・表現上の工夫とその効果に注意して読み、作品の魅力を味わう。	(a) (b) (c)	
	5	俳句の味わい	・俳句の魅力に触れ、声に出して読んだり批評したりした上で、俳句の創作を行う。	(a) (b) (c)	
		なぜ物語が必要なのか	・文章の種類を踏まえ、文章の構成や論理の展開、表現の仕方などを捉える。	(a) (c)	
		私	・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品や作者の主張について考え、自らの意見を持つ。	(a) (b) (c)	
		漢字の広場１ 呉音・漢音・唐音	・漢字の音の歴史について理解を深める。	(a) (c)	
	6	薔薇のボタン	・文章を読むことによって、自らの考え方の幅を広げる。	(a)	
		漢字の広場２　熟字訓	・熟字訓についての理解を深める。	(a) (c)	
		言葉の小窓１ 和語・漢語・外来語	・和語、漢語、外来語について理解し、使い分けられるようになる。	(a) (c)	
		メディア・リテラシーはなぜ必要か？	・複数の資料を比較することで、情報の信頼性の確かめ方を理解する。	(a)	

		新聞が伝える情報を考える	・新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。	(a)	夏休みに作文の課題があります。
	7	持続可能な未来を創るために	・持続可能な社会の実現に向けて、これまでの学習内容を活かし、自らの考えを他者に伝える。	(a) (b) (c)	
		async	・文章に用いられる言葉に着目して、筆者の主張の共通点や相違点をまとめ、自分の考えの醸成につなげる。	(a) (b) (c)	
		問いかける言葉			
		ニュースで情報を編集する	・ニュースを構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。	(a)	
第2学期	9	旅への思い	・歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。 ・古典の一節について自分の考えを持ち、文章を書く。	(a) (b) (c)	毛筆の授業を数回行います。 冬休みに書初めの課題があります。
		和歌の調べ	・和歌の技法や歴史的背景を理解し、古人のものの見方について話し合い、自分の考えを深める。	(a) (b) (c)	
		AI は哲学できるか	・文章に取り上げられている事例や筆者の主張が適切かを吟味しながら、自身のものの見方や考え方を深める。	(a) (c)	
	10	具体例をもとに説明文を書く	・具体的な事例をもとに一般的な特徴を書く。 ・読み手に自身の考えが伝わるように構成を工夫する。	(a)	
		風景と心情	・詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱する。 ・漢詩に込められた作者の思いを読む。	(a) (b) (c)	
		漢字の広場３ 異字同訓	・異字同訓についての理解を深める。	(a) (c)	
		言葉の小窓３ 慣用句・ことわざ	・慣用句やことわざのはたらきや使い方を理解する。	(a) (b) (c)	
	11	故郷	・一人称の語り方や作品の表現の仕方について理解を深める。 ・「希望とは何か」について他者と意見を交流させながら、自分の考えを深める。	(a) (b) (c)	
		自己 PR 文を書く	・読み手を意識した言葉選びや文章構成を検討し、自己 PR 文を書く。	(a)	
	12	表現の工夫を評価してスピーチをする	・相手や場に適した言葉で分かりやすく伝わるようなスピーチをする。	(a)	
		漢字の広場４ 四字熟語	・四字熟語についての理解を深める。	(a) (c)	
		意見を共有しながら話し合う	・相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。	(a)	
第3学期	1	言葉の小窓２ 相手に対する配慮と表現	・場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきを理解する。	(a) (c)	
		「対話力」とは何か	・筆者の主張や文章構成を理解し、自身の考えを他者に伝える。	(a)	

		バースデイ・ガール	・様々な文章に触れ、ものの見方や知見を広げ深める。	(a) (c)	
		やわらかな思い			
	2	実用文を読む	・実用文の特徴を理解し、読み取りができるようになる。	(a)	
		素顔同盟	・様々な文章に触れ、ものの見方や知見を広げ深める。	(a) (c)	
		初恋	・詩の情景や表現の工夫を理解し、朗読する。	(a) (c)	
	3	最後の一句	・近代の小説に触れ、意見や感想を交流する。	(a) (b)	

※年間を通して、副教材の「千葉県 入試直前対策精選問題」を用いた読解問題演習を行います。演習の時間は上記の学習計画に含まれていません。

3　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、国語を構成する言語文化についての知識や技能の獲得状況を、各種テストや授業中の活動(作文、スピーチなど)、書写などから判断する。	○定期テスト ○書写(毛筆) ☆単元テスト ☆小テスト ☆授業中の活動
思考・判断・表現	「話す・聞く」「書く」「読む」活動において、獲得した知識や技能を活用して課題を解決しようと、思考・判断・表現しているかどうかを、各種テストや授業中の活動(話し合い活動など)などから判断する。	○定期テスト ☆ノート、プリント ☆単元テスト ☆授業中の活動 ☆振り返りカード
主体的に学習に取り組む態度	国語の学習活動において、自らの学習に見通しを持たせ、積極的かつ粘り強く取り組もうとしているかどうかを、授業中の活動や態度、各種提出物(ノートやワーク、ワークシートなど)などから判断する。	○提出物(ノート、ワーク等) ☆学習態度 ☆授業中の活動全般 ☆振り返りカード

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。